

# バドミントン協会

## 沿 革

昭和42年、数名で同好会として発足。昭和48年、教育委員会と経験者が協力して、一般、初心者を対象にバドミントン教室を幕別中学校（毎週火曜日）で開設した。

参加者の増加で札内にも開設、十勝の各大会に参加するようになった。昭和50年当時幕別、札内の会場を回り参加者も多く、特に10数キロ離れた所からの方も10名位いて、練習コートが足りないことも度々であった。

昭和50年から道民スポーツ大会の競技種目となり、初陣で女子3位、男子はオーダー失敗ながら準々決勝まで駒を進めた。その後男子は、常に決勝に進出（準優勝）、昭和61年には念願の優勝をかちとり、町民スポーツ奨励賞を受賞した。また、昭和57年より行われている十勝ワイン杯には、優勝4回、準優勝2回、その他各種個人戦の大会にも毎年多数参加、優勝を含め好成績をおさめている。

## 現 況

前回発刊の町スポーツ誌の展望の項にしるした婦人層の拡大も、昭和59年男子コーチを配置し発足し、現在30余名が参加週2回（月・金曜日午前9時～正午）トレセンで楽しい雰囲気の中にも、基本をベースに技術向上を図っている。

特に家事に忙しい中、各々が仲間集めに積極的で、各種婦人大大会が2カ月に1度ぐらいと増加している現在、実力に合わせた級に多数参加している。

一般は週3回（トレセン、札内東中、札内中）と地域的に練習をし、初心者の方には、経験者が基本から指導を行っている。

各種大会が近づくとコートが足りなく、待ち時間を足、腕、腹筋の強化にと、2時間を休みなく使用し汗を流している。

## 展 望

管内の小・中学生、高校生のバドミントン活動、大会も盛んになっていますが、あまり参加されていないのが実情です。

当協会は、管内トップレベルの方も多数おり、バドミントン教室、少年団発足に努力したいとします。ハードなスポーツの中でも上位にランクされるバドミントンですが、その人の能力、技術に合わせて楽しめるスポーツでもありますので、汗を流して健康を持続するため、一般・初心者の方の参加拡大定着を図っていききたいと思います。

